

## ★2014 年ダービー展望

前評判では、皐月賞馬イスラボニータが一番人気、差がなく皐月賞2着のトゥザワールド、3番人氣に、ウオッカ以来の牝馬によるダービー制覇を狙うレッドリヴェールとなっている。そして、すでに春は全休と発表されているバンドワゴンに次いで、ダービー直行と報じられていたプレイアンドリアルは最終的に怪我が完治せず回避が報じられている。

ほぼ確定した出走予定馬は以下の通り。優先出走権を持つイスラボニータを始めとする7頭に加え、賞金上位馬はレッドリヴェールからアズマシャトルまで11頭。これだけでフルゲート18頭の枠が埋まる為、サトノフェラーリ、シャドウダンサー、ピオネロ、ミヤビジャスパーの4頭は除外対象になっている。絶対的に抜けた馬がないだけに、どの馬にもチャンスがありそうに思える今年のダービー。シャドウダンサーとピオネロの3B 級2頭がもし出走できればさらに面白い存在だったのだが…

1	優先出走	イスラボニータ	栗田博憲	2B	△	距離不安
2	優先出走	トゥザワールド	池江泰寿	3B	◎	安定味上位
3	優先出走	ウインフルブルーム	宮本博	2B	△	前残り入着なら
4	優先出走	ワンアンドオンリー	橋口弘次郎	2B	○	差し脚魅力
5	優先出走	ワールドインパクト	友道康夫	2B		
6	優先出走	ベルキャニオン	堀宣行	2B		
7	優先出走	ショウナンラグーン	大久保洋吉	1B		
8	賞金上位	レッドリヴェール	須貝尚介	2B		牡馬相手では…
9	賞金上位	タガノグランパ	松田博資	2B		
10	賞金上位	ハギノハイブリッド	松田国英	2B		鞍上変更不安
11	賞金上位	エキマエ	中川公成	1B		
12	賞金上位	トーセンスターダム	池江泰寿	2B		距離適性外
13	賞金上位	マイネルフロスト	高木登	2B		入着までか
14	賞金上位	サウンズオブアース	藤岡健一	2B		堅実性有るが…
15	賞金上位	アドマイヤデウス	橋田満	3B	▲	巻き返し期待
16	賞金上位	サトノルパン	村山明	3B		
17	賞金上位	スズカデヴィアス	橋田満	2B		
18	賞金上位	アズマシャトル	加用正	2B		
	除外対象	サトノフェラーリ	藤沢和雄	2B		
	除外対象	シャドウダンサー	角居勝彦	3B		
	除外対象	ピオネロ	松永幹夫	3B		
	除外対象	ミヤビジャスパー	笹田和秀	2B		

まずはイスラボニータから。同馬については、フジキセキ産駒ということで一般的にも距離不安説が囁かれている。理論上も、父の母方 Le Fabuleux 内の仏系のスタミナの生かし方が万全ではないことなどから距離への不安は確かにある。皐月賞よりさらに2Fの距離延長は同馬にとっては歓迎すべきことではなく、できるだけ最後の脚を残したいはず。現在まで6戦5勝2着1回という堅実味と順調さを加味して連下に挙げたが、前回の会報の巻頭でも書いた通り、同馬のイメージはジェニユインやロイヤルタッチと重なる部分があり、連には絡んでも突き抜けるほどの勢いは感じない。

続いてトゥザワールド。トゥザワールドも6戦4勝2着2回という堅実な戦績で、ここまで駒を進めて来ている。過去のデータから、皐月賞2着馬のダービーでの実績が今一つ低いのが気になるところだが、それでも今年のメンバーを見渡すと、底力でねじ伏せられるようなしっかりしたスタミナを有している血統構成馬が少ない中、安定味と仕上がった時の決め手勝負ならイスラボニータに引けはとらないだろう。同厩のトーセンスターダムも人気の一角だが、こちらは祖母内ノーザンテーストの影響が最優位の早期勝負型。距離の融通性も今一つで、今回は危険な人気馬と見た。

3番人気は牝馬のレッドリヴェール。桜花賞ではハープスターの2着に敗れたが、まだキャリアは4戦3勝2着 1 回と浅く、底を見せていないという判断から人気を集めているものと思われる。しかし、理論上はCosmah－Almahmoudで全体をリードした近親度の強いスピードタイプで、さすがに12Fの長距離をこなし、しかも牡馬に混じって勝ち負けできるような配合馬ではない。もしスローペースの展開に嵌れば差し脚を発揮できる可能性もあるが、それでもせいぜい入着止まりといったところか。

ワンアンドオンリーは、Halo3×4の単一で米系の血をまとめ、Northern Dancerクロスを呼び水に、Almahmoudで全体をリードした配合。スピードタイプではあるが、父の母方トニービン内のスタミナのキーホース、Prince Rose や Precipitation－Hurry On をきめ細かく押さえており、差し脚勝負の場合は、面白い存在として挙げておきたい。

その他としては、単騎逃げなら健闘の可能性を秘めるウインフルブルームと血統構成だけなら上位クラスの内容のアドマイヤデウスを挙げておく。前者はさすがにサニーブライアンのように東京の12Fを正攻法で逃げ切るほどのスタミナの持ち主ではないが、展開が向いた前残りでの入着という意味ではしぶとさを発揮するかもしれない。後者は、晩成タイプなのに遅生まれということもあり、本格化するとすれば秋以降とは思われる。しかしながら、父の血の流れ・特徴をうまく再現しており、祖母内の欧州系のスタミナからアシストを受け、底力も秘めている。皐月賞では残念ながら結果が伴わなかったが、それでもタイム的にはそれほど大きく離されてはおらず、立て直し次第では勝ち負けも考えられる。その底力に期待したい。

まとめは以下の通り。

◎トゥザワールド

○ワンアンドオンリー

▲アドマイヤデウス

△イスラボニータ

△ウインフルブルーム